

ユネスコ人間と生物圏（MAB）計画生物圏保存地域と自然遺産（世界遺産）との比較

平成16年1月20日作成  
平成21年5月12日修正

	生物圏保存地域（BR）	自然遺産（世界遺産）
概 要	生物圏保存地域は、生物多様性の保護、開発、文化的価値の維持を目的としたネットワーク活動を中心に、保全・条件整備・開発の3つの機能を持つ地区である。ユネスコ人間と生物圏（MAB）計画事業として実施している。	ユネスコ締約国が採択した「世界の文化遺産 および自然遺産の保護に関する条約」に基づき、国レベルでの遺産保全プログラムを補完する。そのうち下記の条件を満たすものが、自然遺産として登録される。
選定基準	<p>①人間の干渉を含む、主要な生物地理学地域を代表する生態系を包含すること。</p> <p>②生物多様性を保存する上で重要であること。</p> <p>③地域レベルでの持続可能な開発のための探査と実証的アプローチの機会を提供すること。</p> <p>④以下に述べる生物圏保存の3つの機能に供する上で適当な広さを持つこと。</p> <p>(1) 保全の観点</p> <p>(2) 開発の観点</p> <p>(3) (教育・研修の場を提供するための) 条件整備の観点</p> <p>⑤次の3つを含みかつ適度な広さを持つこと。</p> <p>(1) コア・エリア</p> <p>(2) 緩衝地帯</p> <p>(3) 移行地帯</p> <p>⑥生物圏保存の役割を企画・実行する上で、公的機関・地域共同体及び私的機関等の間の適当な範囲での参加を促すため、組織的な整備が行わなければならない。</p> <p>⑦加えて、以下のための規程が必要</p> <p>a) 緩衝地帯における人的利用と活動を管理する機構</p> <p>b) 生物圏保存地域としての地域管理施策・計画</p> <p>c) その施策・計画を実行するために指定された公的機関・メカニズム</p> <p>d) 研究・モニタリング・教育及び研修のためのプログラム</p>	<p>(vii) 類例を見ない自然の美しさ、あるいは美的要素を持ったすぐれた自然現象、あるいは地域を含むこと。</p> <p>(viii) 生命進化の記録、地形形成において進行中の重要な地質学的過程あるいは重要な地形学的、自然地理学的特徴を含む、地球の歴史の主要な段階を代表する顕著な例であること。</p> <p>(ix) 陸上、淡水域、沿岸・海洋生態系、動・植物群集の進化発展において重要な進行中の生態学的・生物学的過程を代表する顕著な例であること。</p> <p>(x) 学術上、あるいは保全上の観点から見てすぐれて普遍的価値をもつ絶滅のおそれのある種を含む、野生状態における生物の多様性の保全にとってもっとも重要な自然の生息・生育地を含むこと</p> <p>のうち、1つ以上に合致することが条件であるが、登録地域の大部分は2つないし3つの条件を満たすものである。</p> <p>(番号(i)～(vi)は文化遺産の評価基準)</p>

	生物圏保存地域（BR）	自然遺産（世界遺産）
選定手続	<p>ユネスコMAB国内委員会 候補地をユネスコMAB事務局に提出</p> <p>↓</p> <p>ユネスコMAB事務局 生物圏保存地域に関する専門家グループに提出。 必要に応じてユネスコMAB国内委員会に追加情報を求める</p> <p>↓</p> <p>専門家諮問グループ 検討し、MAB国際調整理事会に勧告</p> <p>↓</p> <p>ユネスコMAB国際調整理事会 勧告を考慮しつつ、正式な判断を下す。</p> <p>計画は、UNEP（国連環境計画）、FAO（国連食糧農業機関）、ICSU（国際科学会議）IUCN（the World Conservation Union国際自然保護連合）などの諸機関、関連する国際計画との協力関係において行われている。</p>	<p>締約国による推薦 （推薦書を世界遺産センター（WHC:World Heritage Centre）へ提出）</p> <p>↓</p> <p>世界遺産委員会の諮問機関による現地調査及び書類審査 国際自然保護連合（IUCN:the World Conservation Union）が締約国が推薦する各物件が基準及び完全性の条件を満足しているかどうかの評価を行い、評価報告を世界遺産委員会に提出</p> <p>↓</p> <p>世界遺産委員会 世界遺産リストへの登録の可否を決定</p>
委員会	ユネスコMAB国際調整理事会	世界遺産委員会
登録数	105カ国 531件（2008年2月現在）	174件（2008年7月現在）
事業開始年度	1971年	1972年
その他	<p>生物圏保存地域の特徴</p> <p>生物圏保存の目的を国際的に理解すること、基準の作成、情報と人物の交換が目標。 よって生物圏保存の概念には、当該地域の陸及び水を適切に管理する哲学を含む。それは、保存、修復及び開拓又は未開の土地を人間がよりよく管理する知識の獲得を含む。</p>	